

セキスイハイムの新たな分譲地ブランド、九州エリア第1弾

『ユナイテッドハイムパーク糸島』販売開始

—「スマート&レジリエンス」とコミュニティ活性化でサステナブルなまちへ—

- 全邸最高ランク『ZEH』と蓄電池搭載で、環境にやさしく電力不安の少ない暮らしを実現
- 積水化学グループのインフラ技術と防犯設備で、災害時と日常の安心の暮らしを実現
- 共同菜園×隣接公園のコミュニティで、ニューノーマルなスローライフを叶えるまちを実現

2022年12月22日

セキスイハイム九州株式会社

セキスイハイム九州株式会社（本社：福岡市中央区、代表取締役：川端 久仁夫）は、2023年1月14日（土）より、『ユナイテッドハイムパーク糸島』（福岡県糸島市板持字蔵ノ元33番1他、全52区画）の第1期分譲（12区画）を開始します。

セキスイハイムグループは、昨年のセキスイハイム50周年を機に、社会課題解決への貢献を拡大する「全国一斉まちづくりプロジェクト」を始動。「スマート&レジリエンス」をコンセプトに、建物だけでなく土地のレジリエンスも強化した高付加価値分譲地が多くのお客様から好評を得ており、2022年10月に、この取り組みを新たにブランド化した「ユナイテッドハイムパーク」を立ち上げました。

『ユナイテッドハイムパーク糸島』は、この新ブランドの九州エリア第1弾です。カーボンニュートラル社会への貢献や災害へ備える際立ち技術と、共同菜園を活用した地域コミュニティの活性化により、安心・快適で長く住み継がれるサステナブルなまちを目指します。

『ユナイテッドハイムパーク糸島』の特長

1. 全邸最高ランク『ZEH』と蓄電池搭載で、環境にやさしく電力不安の少ない暮らしを実現

地球温暖化やエネルギー価格高騰に対応するため、ZEH区分の中でも最高ランクの『ZEH』を全邸標準とします。高气密・高断熱の躯体性能をベースに、太陽光発電システム（以下PV）、蓄電池、HEMSの3点セットを全邸に搭載することで、可能な限り自然エネルギーを活用し電力不安の少ない暮らしを目指します。

また、抗ウイルス対応フィルター^{*1}を採用した換気・空調システム「快適エアリー T-SAS（ティーサス）」を標準仕様^{*2}とし、快適な室内環境も確保します。

2. 積水化学グループのインフラ技術と防犯設備で、災害時と日常の安心の暮らしを実現

激甚化する豪雨災害への備えとして、雨水を地下に一時貯留させる「クロスウェーブ」を全区画に導入し、内水氾濫抑制を図ります。また、蓄電池による停電時の電力確保^{*3}や、「飲料水貯留システム^{*4}」による断水時の飲料水確保で、災害時の自宅での生活をサポートします。

さらに、センサーで人の動きや窓の開閉等を検知して警報ブザーやスマートフォンへ通知する^{*5}防犯設備を全邸に設置し、日常の安心も確保します。

3. 共同菜園×隣接公園のコミュニティで、ニューノーマルなスローライフを叶えるまちを実現

分譲地内の土地を市から借り受け、住民共有の菜園を整備。植物を通じた住民同士のコミュニケーションや、自然を体感するスローライフを叶えます。また、菜園に隣接した公園では、収穫祭なども可能です。遊具やパーゴラで普段から人が集いやすくする他、かまどベンチを設置することで防災拠点の役割も担います。共同菜園と隣接公園がつながるコミュニティをデザインし、多世代にわたって交流が続くサステナブルなまちを実現します。

『ユナイテッドハイムパーク糸島』販売開始の背景・狙い

セキスイハイムグループでは、環境問題をはじめとした社会課題の解決や強固な経営基盤の構築を事業の成長力として位置づけ、「顧客価値」と「事業価値」の両立による ESG 経営を推進しています。昨年セキスイハイム誕生 50 周年を機に、カーボンニュートル社会の実現、激甚化する自然災害への対応、空き家対策などの社会課題解決への貢献を拡大する「全国一斉まちづくりプロジェクト」を推進しています。

本プロジェクトの特長である、積水化学グループの強みを生かした環境・防災対応の共通化と様々な地域課題へ対応する「まちづくりの仕組み」は、2022 年度グッドデザイン賞を受賞。2022 年 10 月に、本プロジェクトで培った環境・快適・安心に資する高付加価値仕様を標準採用とした新たな分譲地ブランド「ユナイテッドハイムパーク」を立ち上げました。

『ユナイテッドハイムパーク糸島』は、この新ブランドの九州エリア第 1 弾となります。快適・便利で地球環境にやさしいセキスイハイムのスマート技術と、災害に強い積水化学グループのインフラ技術を活用することにより、長く安心して住み継がれるサステナブルなまちを目指します。

■ユナイテッドハイムパークについて

ブランド名称「ユナイテッドハイムパーク」の United (ユナイテッド：統合する) は、環境性能とレジリエンス性能を融合し、積水化学グループ総力による次世代スタンダード技術融合の象徴を意味しています。また、その街ならではの魅力や特色とまちづくりの融合を積極的に図り、ソフト面での満足度向上にも取り組んでいきます。



『ユナイテッドハイムパーク糸島』の特長

1. 全邸最高ランク『ZEH』と蓄電池搭載で、環境にやさしく電力不安の少ない暮らしを実現

(1) PV、蓄電池、HEMS 搭載で、全邸最高ランク『ZEH』

地球温暖化に加え地政学的要因によるエネルギー供給不足が顕在化し、住宅の省エネルギー化はますます重要になっています。

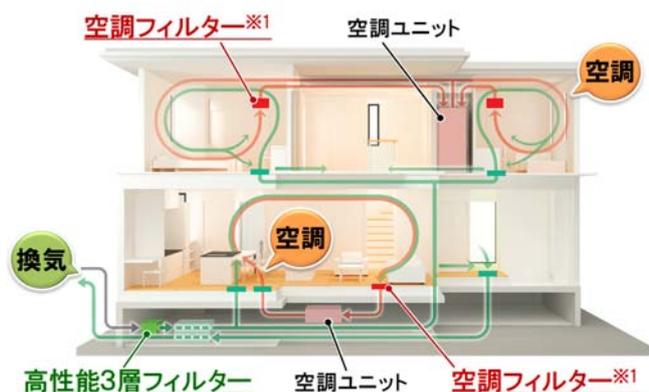
『ユナイテッドハイムパーク糸島』は、全邸に高断熱仕様と PV (4kW 以上推奨) を搭載し、ZEH 区分の中でも Nearly ZEH、ZEH Oriented を含まないエネルギー削減率が最高ランクの『ZEH』とします。加えて、エネルギー自給自足率を高める蓄電池 (9.9kWh^{*6}以上推奨) と、効率的に電力をコントロールする独自の HEMS も全邸で採用。可能な限り自然エネルギーを活用し電力不安の少ない暮らしを実現します。



3 点セット (PV、蓄電池、HEMS) を全邸で搭載

(2) 良質な室内環境を確保する独自の換気・空調システムを標準搭載

『ZEH』水準の断熱性能による快適な温熱環境に加え、快適な空気環境を確保するため、換気・空調・粉塵浄化の 3 つの機能を有する第一種換気・全室空調システム「快適エアリー T-SAS」を標準搭載^{*2}。換気システムの高性能 3 層フィルターや抗ウイルス対応^{*1}の空調フィルターを採用した独自システムにより、ニューノーマルで重要性が高まっている良質な室内環境の確保を図ります。



良質な室内環境を実現する「快適エアリー T-SAS」

2. 積水化学グループのインフラ技術と防犯設備で、災害時と日常の安心の暮らしを実現

(1) 豪雨災害や在宅避難に備えるレジリエンスメニューを全邸で採用

近年、台風や線状降水帯による豪雨災害が頻発化しており、南海トラフなど大規模地震による災害も懸念されています。これらの災害に備えるまちを実現するためには、地下部分のインフラを整備することも重要と考えます。

『ユナイテッドハイムパーク糸島』では、豪雨対策として、住宅の屋根に降った雨水を地下に一時貯留する「クロスウェーブ」を全邸で採用し、下水管への雨水排水量を抑制することで、内水氾濫による浸水被害の低減を図ります。また、蓄電池によって停電時でも電気が使える^{※3}ほか、断水時にも数日分の飲料水を確保できる「飲料水貯留システム^{※4}」も全邸で採用。災害時のライフラインを維持し、自宅での生活をサポートします。

クロスウェーブと飲料水貯留システムは、いずれも積水化学グループの製品であり、災害に強いインフラ技術のグループシナジーにより、まちのレジリエンス向上を目指します。



(2) センサー機器を活用したホームセキュリティを全邸で採用

自然災害時の安心だけでなく日常の安心も確保するため、ホームセキュリティを全邸に設置します。

壁に設置して周辺の人動きを検知する人感センサーと、窓やドアに設置して振動や開閉等を検知する開閉センサーを採用。異常時にはゲートウェイ機器と連携して警報ブザーを鳴らすとともに、スマートフォンへの通知^{※5}も行うため、速やかに異常を知ることができます。

まち全体で防犯意識を向上させることで、安心して長く暮らせるまちづくりを目指します。



窓などからの侵入を検知するホームセキュリティ

3. 共同菜園×隣接公園のコミュニティで、ニューノーマルなスローライフを叶えるまちを実現

まちは長く住み続けられること、住まい手が変わっても価値を持続させることが重要です。

『ユナイテッドハイムパーク糸島』では、分譲地内に共同菜園を整備。植物を育てることの大切さ、収穫できる喜びを地域住民で共感できるコミュニティの場を提供するとともに、花・果実・虫といった自然を体感できるスローライフも目的のひとつです。

菜園に隣接する公園では、収穫祭などのイベントも開催できます。普段は子供たちの遊び場となる他、かまどベンチを設けることで、防災拠点としての役割も担います。

共同菜園と隣接公園がつながるコミュニティをデザインし、多世代にわたって交流が続くサステナブルなまちを目指します。



『共同菜園×隣接公園』のイメージ

『ユナイテッドハイムパーク糸島』の概要

『ユナイテッドハイムパーク糸島』が立地する糸島市は、自然に囲まれた住環境が特徴です。休日には、農畜産物直売所、海岸線近くのカフェやレストランには多くの人を訪れます。

JR 筑肥線波多江駅から徒歩約 17 分、波多江小学校から徒歩約 14 分の立地条件で福岡市中心部への通勤・通学、休日のレジャーにも適しています。

所在地：福岡県糸島市板持字蔵ノ元 33 番 1 他
交通：JR 筑肥線 波多江駅 徒歩 17 分
開発面積：16.237.88 m²
地目：田
用途地域：無
建ぺい率・容積率：50%・80%
事業主・売主：セキスイハイム九州株式会社
設備等の概要：公営水道、公共下水道、個別プロパンガス、電力供給有
道路：幅員 5.5m～6.5m（アスファルト舗装）
造成完了年月日：2023 年 5 月下旬（完了予定）
総区画数：52 区画
第一期販売区画数：12 区画
販売区画面積：202.97 m²～203.00 m²（予定）
販売価格：未定



『ユナイテッドハイムパーク糸島』まちなみイメージ

『ユナイテッドハイムパーク糸島』 <https://www.heim-k.com/itoshima/>

- ※1 フィルターに付着したウイルスに対する抑制機能について JIS 規格（JIS L 1922:2016(ISO18184)）に基づき実証しています。ただし、すべてのウイルスに効果があるわけではありません。疾病の治療や改善、予防を目的とするものでもありません。また、フィルターを通過する空気に対する抗ウイルス機能については確認していません。
- ※2 木質系住宅の場合は、計画的な換気、除湿・加温を行う熱交換型全館換気システム「空気工房」となります。抗ウイルス対応フィルターは採用していません。
- ※3 停電時に利用できる電力、家電機器は限られます。利用できる時間は実際に利用する家電機器、天候等による発電状況により異なります。また、事前に計画したコンセント・スイッチでのみ電力が使用可能です。
- ※4 事前に計画した給水器具からのみ取水可能です。4 日以上水を使用しなかった場合は、貯留水の水質が低下している恐れがありますので、システムが設置された水栓の使用を再開する際には、最初の 70 リットルを飲用以外にご使用いただく必要があります。最初の 70 リットルを飲料水とする場合は、煮沸が必要です。
- ※5 Wi-Fi 環境と専用アプリへの登録が必要です。対応 OS：Android 7.0 以上、iOS 13.0 以上（2022/12/12 現在）。
- ※6 蓄電池容量はカタログ値であり、実際に使える容量とは異なります。

[セキスイハイム九州株式会社 会社概要]

- ◎設 立 : 2005年7月
- ◎資 本 金 : 3億円(積水化学工業株式会社100%出資)
- ◎代 表 者 : 代表取締役 川端 久仁夫
- ◎売 上 高 : 410億円(2022年3月期実績)
- ◎従 業 員 数 : 717名(2022年4月時点)
- ◎事 業 内 容 : ユニット住宅「セキスイハイム(鉄骨系)」、「セキスイツーユーホーム(木質系)」の販売と設計、施工管理
- ◎事 業 所 : 本社、福岡支店、北九州支店、大分支店、九積支店、長崎支店、熊本支店、鹿児島支店、宮崎支店
- ◎グループ会社 : セキスイファミエス九州株式会社、九州セキスイハイム不動産株式会社
- ◎本社所在地 : 〒810-0011 福岡市中央区高砂2丁目8-1 オヌキ高砂ビル6F

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>

セキスイハイム九州株式会社

〒810-0011 福岡市中央区高砂2丁目8-1 オヌキ高砂ビル6F

■本社 街づくり事業部 高橋 TEL : 092-533-8071

■お問い合わせ時間 10:00~18:00 ■定休日 毎週 火曜日・水曜日